

『破天荒』の信頼構築を目指す

税務・経理・経営改善のプロ

(唐の時代)、この頃中国には科挙という難しい官吏登用試験があった。荊州では長年、合格者を出すことができず、人々はこの地は天荒、つまり荒れた未開の土地だといつて嘆いていた。やがて、やっと劉蛻という俊英が出現して合格し、「天

荒を破った」と地域の民衆は喜んだと伝えられている。単に常識破りの行動をするというのではなく、今まで誰もやれなかったことをする、それが『破天荒』の原点だ。平井会計事務所(所長・平井満広氏)は、「会計を通じて人を幸せにする」という使命感を持って、まさに『破天荒』な信頼の構築を目指している。もちろん、業種が業種だけに常識破りの荒技などあろうはずもない。極めてオーソドックスな正攻法ながら、昭和50年生まれという平井氏の若い感性とキメ細かなフットワークがその信頼の基点だ。『経営記録を分析して問題を解決し、経営者の不安を解消する』そんな税理士であることを目標とし、ひとつひとつの案件に誠実に取り組んでいる。スピードとコミュニケーションによる安心感のある税務・経理のプロフェッショナルとして、決算書の数字を単価や数量という細かい視点で分析。専門家ならではの的確な指摘と解決へと導くサポート体制の懇切丁寧さが「平井さんなら任せておいて安心」という評価を培った最大要因と言えよう。クライアンの懐に深く入り込んでの親身になった実績の積み重ねが、大手にも決して引けを取らない信用の根幹だ。